願ってヒラメとメバルの

着後は大きくなるのを

ジング

はしゃぐ子どもたち。

稚魚を海へ放った。そし

て帰路では、クルージン

グも楽しんだ。

金沢漁港 湾金沢八景の金沢漁港で 第21回金沢漁港放流祭 なわれた。 6月27日(木)、東京 合金沢支所主催=がおこ

東京湾

関東学院六浦小学校の児童たち

放流魚の説明をする今井さん

を広く啓蒙することが目 のメバル3000尾の稚 メ2000尾と5~6ザ 的。今回は6秒ほどヒラ

魚が放流された。

9時前、金沢小学校の

り」=横浜市漁業協同組 公益財団法人神奈川県栽児童72人が徒歩で到着。 放流魚の各魚種の成長な 井利為

・水産学博士が 培漁業協会専務理事の)写真を見せながらわ

数える。金沢小学校、 理解と水産資源の大切さ を通して、栽培漁業への 年生に参加を呼びかけ、 メなどの稚魚放流体験 遊漁船に乗船してのヒラ 東学院六浦小学校の各5 保護活動の一環としてス このイベントは資源 今年で21回を りやすく解説。 児童から「漁に出て一番 質問があればと問われ、 船長から乗船に際しての ほか、活発に質疑応答が 獲れる魚は?」との問い 諸注意のあと、船長への コガレイなど」と答えた に「アナゴ、ヒラメ、マ のち緑川

船長や関係者は放流の準その間、金沢漁港の

ちは、順番に2隻の船に 程5分ほどの八景島周辺 分かれて乗り込んで、 ライフジャケットの用意 運び込まれる。桟橋では 分けられリレーで船へ

様にイベントを楽しんで

た。

に乗船し稚魚を放流。同

学校の児童41人も、2隻

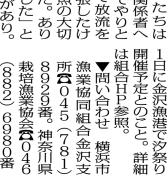
後発の関東学院六浦小

放流のあとはクル

が強いなか、見送る人や梅雨の晴れ間で日差し 僚船の同級生に手を振り 見送る人や

帰港後、児童たちは

が手渡され散会となっ 児童からの感想があり。 さもわかりました。あり ど楽しかった。魚の大切 やってみて、緊張したけ 質問を投げかけてやりと 最後に関係者からお土産 がとうございました」と 、井さんや漁港関係者へ 「今日始めて放流を



漁業協同組合金沢支▼問い合わせ 横浜市 所☎045 (781) 8929番。神奈川県 栽培漁業協会2046 (882) 6980番





